

# 令和4年度 議会報告会 実施報告書



近江八幡市議会

# はじめに

近江八幡市議会では近江八幡市議会基本条例を制定し、市民の皆様が市政に関するご意見を述べられるような懇談会や議会報告会を開催する機会の確保に努めるとともに、市民の皆様との意見交換を行い政策提案の拡大を図っています。

そのため、年 1 回程度の議会報告会を開催させていただいていますが、一方的な議会活動の報告に終始せず、サイレントマジョリティーと呼ばれる多くの声なき市民の声の広聴に努めるため、今年度は、コミュニティセンター等に市民の皆様の足を運んでいただく従来方式の報告会ではなく、議会側からご意見を頂戴しに行くという形式で、また、コロナ禍における議会報告会を実施するために、屋外街頭方式での議会報告会を開催いたしました。

報告については、各常任委員会からそれぞれの報告を簡潔に行い、「良い・ふつう・悪い」ではなく関心のある項目にシールを貼っていただき、ご意見頂ける方についてはポストイットにてボードにご意見を貼り付けていただくという広聴に重点を置いた新たな形式で実施させていただきました。

このことにより若者や子育て世代、高齢者に至るまで幅広い年齢層や、日頃政治に関心を示されない方達からも様々なご意見を頂戴することが出来たのではないかと考えています。

今後、ご協力いただきましたご意見を参考にさせていただきながら、課題を整理し、市政発展に繋がっていきますよう議会活動に取り組んでまいります。

## 目次

1、概要	1
2、常任委員会の報告	2
3、アンケート結果	4

# 1. 概要

## (1) 主催

近江八幡市議会

## (2) 開催日時及び会場

開催日	時間	会場
10月15日(土)	10:30~11:30	平和堂篠原店前
10月15日(土)	15:30~16:30	近江八幡駅 北口
10月16日(日)	10:30~11:30	安土フレンド마트前
10月16日(日)	15:30~16:30	近江八幡駅 南口

## (3) 内容

### ①常任委員会(総務・教育厚生・産業建設)の報告

6月定例会・9月定例会での各常任委員会の審査概要を、参加議員のなかの各委員会に所属する委員が報告を行いました。

### ②市政に関するアンケート

各常任委員会の所管事項(総務:財政・医療、教育厚生:子育て・介護、産業建設:防災・環境)のから関心の高いテーマを選んでいただき、市民のみなさまの市政に関するご意見をお聞きしました。

## (4) 参加議員

開催日	10月15日(土)	10月15日(土)	10月16日(日)	10月16日(日)
時間	10:30~11:30	15:30~16:30	10:30~11:30	15:30~16:30
会場	平和堂篠原店前	近江八幡駅北口	安土フレンドン마트前	近江八幡駅南口
会場責任者(司会)	森原陽子	山本妙子	南祐輔	道下直樹
開会挨拶	山本英夫	山本英夫	山本英夫	小西励
委員会報告	総務	山本妙子	奥田孝司	井上さゆり
	教厚	南祐輔	森原陽子	南祐輔
	産建	道下直樹	辻正隆・竹尾耕児	玉木弘子・岡田彦士
参加議員	岩崎和也、大川恒彦、北川誠次、平井侑治、山元聡子、道下直樹、山本妙子、山本英夫、南祐輔、西津善樹	竹尾耕児、辻正隆、奥田孝司、山本英夫、森原陽子、山本妙子、南祐輔、西津善樹	玉木弘子、井上芳夫、岡山かよ子、岡田彦士、井上さゆり、山本英夫、道下直樹、山本妙子、南祐輔、西津善樹	小西励、沖茂樹、片岡信博、小川広司、山本英夫、森原陽子、道下直樹、南祐輔、西津善樹
記録(報告)	山本妙子	南祐輔	山本妙子	森原陽子
閉会挨拶	西津善樹	西津善樹	西津善樹	西津善樹

## 2、常任委員会の報告

### 【総務常任委員会】

総務常任委員会は、市税や財政運営、病院、市の中長期的方針などに関わる内容を審査する委員会です。

6月定例会では、「近江八幡市病院事業使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定」の議案は、総合医療センターの紹介状がない場合の初診加算料を上げるものでありました。委員からは、国の決定に伴うものであることは承知しているが、このことによって病院の収益が上がるものではない、また、医療機関が近くにない地域の住民が直接、総合医療センターを受診することは今後もあり得ることから反対であるなどの意見がありました。

9月定例会では、文化会館事業特別会計の審査過程において、文化会館の自主事業に対する考え方として、若い世代の集客についても検討するべきなどの意見とともに、採算性だけを見るのではなく、市民の文化芸術を高めることに費用対効果で寄与しているかどうかで見るべきであるなどの意見がありました。

次に、当委員会では、テーマを「地域コミュニティの現状と問題について」とし、継続して調査を行うとともに、新たに「デジタルを活用した窓口サービスについて」も調査を行っております。

本市では、学区自治連合会及び学区まちづくり協議会を核として、市民に最も身近なコミュニティとして地域を支える自治会が中心となって、住民相互の支え合いにより、住民福祉や防犯・防災等の取組を行ってきました。

しかしながら近年、核家族化や高齢化が進み、地域活動への参加意識や重要性の認識等が希薄化しており、加入率は年々低下傾向にあります。

一方、自然災害においては、今後の気候変動によっては大きな災害が発生する可能性がある中で、特に災害が起きたときに弱い立場にある高齢者等への対応策の整備などが急務であり、地域における防災の担い手を確保しながら、地域・企業・行政が連携しながら災害に強いまちづくりに取り組むことがより重要となっています。

このような中、地域における防災まちづくりの先進地の取組について調査を行い、本市における自主防災組織のあり方等の参考にします。

また、デジタルを活用して窓口サービスにおける課題解決を図る他自治体の取組等について調査研究を行い、窓口業務のデジタルの活用により、手続きに係る市民の負担軽減、待ち時間の少ない窓口、職員の業務効率化への取組の参考とします。

今後も課題解決に向け、当局と連携しながら引き続き調査研究に努めてまいります。

## 【教育厚生常任委員会】

教育厚生常任委員会は、主に、子育て、教育、介護や障がい者支援等に関する事柄について審査を行っています。

6月の定例会におきましては、学校給食費に関する条例の一部を改正する条例の制定についての議案が1件、当委員会に付託されました。議案の質疑を行い、審査した結果、賛成多数で原案を可決すべきものと決しました。

審査の中では、賛成の立場からは、今回の改正案は、申請に基づいて2番目以降の子どもの給食費を減免および補助するという内容なので、1番目の子どもにも対象を広げることや、減免にあたっての申請を不要とすることなど、制度設計の見直しが必要と考えるが、現状の社会情勢を踏まえると困窮している子育て世帯も存在することから、まずはこの改正案を早急に実施し、一定期間経過後に事業評価を行い、見直しを図るのが望ましい、との意見がありました。

また反対の立場からは、この改正案を子育て支援とするならば、市内の全ての子ども、もしくは中学生を一律で対象とし公平公正に扱うべきである、長期的な施策であるため、財源について慎重に審議して財源担保を行ってから実施すべきである、との意見がありました。

次に、9月の定例会におきましては、決算認定議案5件、予算関連議案3件、条例議案3件が当委員会に付託されました。議案の審議を行い審査した結果、決算認定議案については原案を認定すべきものと、予算関連議案と条例議案については原案を可決すべきものと、決しました。

子ども医療費助成条例の一部を改正する議案についての審査の中で、賛成の立場からは、この条例改正の実施により、全ての18歳までの子どもたちが安心して医療を受けることができるようになるので賛成します、との意見がありました。

反対の立場からは、子ども医療費助成は、ふるさと納税寄附金から子ども子育て基金に繰り入れた財源を充てているが、ふるさと納税に依存するのではなく、長く持続可能な財源の確保を検討するべきと考えるので反対します、との意見がありました。

## 【産業建設常任委員会】

産業建設常任委員会は3つの常任委員会の中でも、土木関係、農業関係、交通、商業関係、上下水道、ゴミや環境問題に至るまで市民サービスに密接に関わっている内容を審査する常任委員会です。

今回皆様には7月19日におこった線状降水帯によって安土の地下道が冠水して、死亡事故が発生した件についての産業建設委員会としての対応についてお話しさせていただきます。

市でも事故検証委員会が開かれておりますが、産業建設常任委員会の所管に関わる内容でしたので、死亡事故が発生した安土町下豊浦地先の地下道の事故現場の状況確認と、その後の安全対策のための現地調査を近江八幡市議会9月定例会の開会日である8月29日におこないました。

現地では地下道に雨水が流入した周囲の状況や、スロープの構造及び排水ポンプの容量、排水先の水路などを調査、確認を委員会で行いました。

委員会からは早急に市道側の事故防止設備の設置をすること、さらに市の危機管理体制の在り方や人的配置を含めての体制の強化を行うとともに、市民への危機喚起の徹底や情報伝達について改善を求めました。

また、昨今の短時間豪雨に対応するには、排水ポンプの能力及び排水先の水路も脆弱で問題があると市に対し指摘をおこないました。

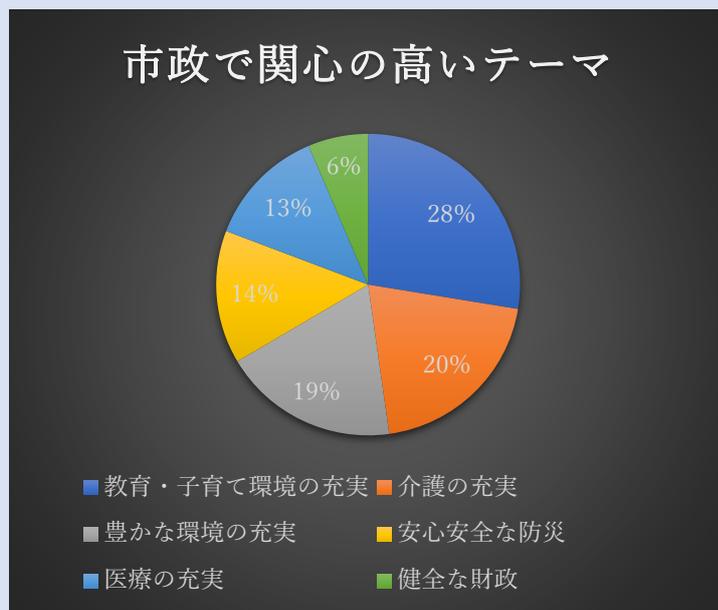
併せて、市内のJRおよび国道に設置をされている、他のアンダーパスおよび地下道の管理体制や、これまでの冠水状況について聞き取りを行い日頃から注意喚起を促すための看板設置や必要な事故防止設備の設置を市に要請しました。

我々今後とも市民の皆様の安全、安心、幸せのために産業建設常任委員会一同真剣に議論してまいります。

### 3. アンケート結果

#### 【アンケート集計】

関心のあるテーマ	回答人数	率
教育・子育て環境の充実	56	28%
介護の充実	41	20%
豊かな環境の充実	38	19%
安心安全な防災	29	14%
医療の充実	26	13%
健全な財政	13	6%
計	203	



#### 【市政に関する主なご意見】

##### 医療について

- 医療機関の情報をもっとわかりやすくしてほしい。
- 医療の充実を図ってほしい。
- ネットで調べたらどこが良い病院かわかるようにしてほしい。
- 安心感があるから近江八幡市医療センターに直接行きたい。

##### 税について

- 固定資産税の(支払額)を安くしてほしい。

##### 庁舎について

- あちこちに振り回されるのがいやだから、支所ではなく本庁に行くようにしている。
- 市役所を早く建設してください。

##### 子育てについて

- 赤字にならず、子どもたちが生活できるまちづくりをしてほしい。
- 子どもだけでなく、大学生へ支援してほしい。
- 中学生2人を育てているが、制服をやめて私服にしてほしい。
- 学童・保育園は行きたいところに行けるようにしてほしい。
- 高卒までの医療費と給食費無料化をしてほしい。
- 子育てしやすいよう、支援をしてほしい。
- 給食費の第一子からの無料化を望む。
- 給食は子ども全員、全国で平等に無償化してほしい。
- 受け入れの要望に対応できるよう、桐原に公立保育園を増やしてほしい。
- 放課後デイサービスの充実を。障がい児ケアに関する情報発信してほしい。

- 子どもを育てる環境の充実を望む。
- 放課後に子どもたちが遊べるところがほしい。
- 公園がほしい。
- 中学校卒業までの教育を無償化してほしい。
- 教育費が重荷。
- 子どもが生まれたばかりで、出た時に授乳室を探して回っている。駅の構内など多くあれば助かる。
- 育休のとき子どもが早く帰って来ることが不便であったので、産後ケアの充実を希望する。
- 学校の教員不足各校は必死。しっかり人と予算をつけてほしい。
- 野洲の養護学校の定員が一杯なので、市内に特別支援学校がほしい。
- 学童クラブの送迎があると安心。
- 働きながら子どもが預けられるようにしてほしい。特に送迎があるとありがたい。

#### 高齢者・介護対策

- 介護保険が高すぎる。簡単に支払ってもらえるようなシステムにしてほしい。
- 年金の支払いに負担がかからないようにと願う。
- 年金の支払額が高い。高齢者は貰いすぎと思う。
- 高齢者の居場所づくりが必要。
- 介護認定が難しい。他市ではもっとサロンを積極的にやっている。
- 介護、1人暮らしを近所の方が心配している。自分の家だけでなく心配する。声を掛け合って暮らせる地域づくりが必要。
- 介護保険料が高い。介護の程度がある程度進行しないと使えない。ある程度年齢がいったら使えるようにしてほしい。
- 介護の中身をリアルに知りたい。
- 介護認定などに時間がかかって困る。3ヶ月くらいかかった。こんなに手続に時間がかかるならやめようかと思う。もっと市民に寄り添ってほしい。
- 家族が介護状態になった時にちゃんとしてくれるのか心配。
- ケアマネさんがいない。
- 年金の支給額をあげてください。

#### あかこんバスについて

- あかこんバスを70歳以上無料にしてほしい。
- あかこんバスに車椅子で乗ればいい。
- あかこんバスが便利になった
- あかこんバスを充実させてほしい。
- 沖島へ行きたいが土日、あかこんバスが走っていないので行く交通手段がない。

#### 交通政策について

- 生活道路の整備。
- 通学路・グリーンベルトの整備。
- 踏切の整備。
- パトライトの設置。
- 街灯の設置。
- 買い物がフレンドシカない、自動車でしか行けない。買い物難民への対応を。
- 公共交通を増やしてほしい。
- 近江八幡駅北側の混雑緩和。

## 防災について

- 下水道の整備。
- 下水道、集中浄化槽が40年経っている。本管の耐用年数とか心配。
- 日野川の河川対策を望む。
- 市道の真ん中の除草してほしい。
- 地下道の問題が何十年も前からあるのに、何もしてない。
- 防災、災害への迅速な対応が必要。
- 川の氾濫が心配。治水対策をしてほしい。
- 駅北口の雨水対策に力を入れてほしい。昨年マンションの駐車場に水が入っていたと思う。
- 旧平和堂近くの冠水対策をもっとしてほしい。一気に区間を直してほしい。「利八」さんがあった頃から水がついていた。

## 環境・ゴミ

- 森林を守ってほしい。
- マナーの悪い人をどうにかして欲しい。道路に空き缶、ペットボトルなどのポイ捨て、野良猫への餌やりなどを目にする。

## 観光政策

- 安土の観光に力を入れてほしい。
- 物産協会に任せるのではなく、安土観光の活性化に力を入れてほしい。
- 観光をもっと活性化できるのではないかな。駅周辺にもっと活気があればと思う。
- 旅番組を見ていると、駅が寂しく感じる。自分でも何かできることがあれば、したいと思う。
- 観光面でレンタサイクルを活用してはどうか。
- 琵琶湖の活用を考えるべき。
- 市内で需要の喚起をするための施策をうってほしい。鋼鉄製の部品の卸の税収が多いので、税収が高い産業の支援の強化をしてほしい。
- 観光クーポンの年代別の利用者数、認知度、消化率、などを知りたい。  
20-40代の認知度が低いなら、周知することで産業の活性化を図れると思う。またこの年代のクーポン利用率が高いとわかれば、クーポンを使うという理由での有給をとりやすくなる。

